

飼料用米サイレージ調製法

目的と特徴

- 飼料用粳米をサイレージとして貯蔵するための調製法を確立しました。
- 破碎処理、乳酸菌添加、水分含量27.5%以上の3つを組み合わせることで、長期間、安定した良質なサイレージに調製できます。
- 従来の乾燥調製と比較して、サイレージ貯蔵はコストを約34%削減することができます。

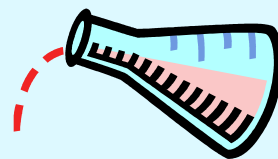


破碎処理



水分添加

目標調整水分27.5%以上



乳酸菌添加

畜草1号など



フレコンバッグ



ドラム缶

3つの処理を組み合わせ、内袋入りのフレコンバッグやドラム缶に詰め込み密封することで良質なサイレージに調製できます。

成果

- 破碎処理（2mmメッシュ通過割合25%以上）、乳酸菌（*Lactobacillus plantarum*、 10^5 CFU/g新鮮物中）を添加することで、相乗効果により、pHは4以下となり良質なサイレージになります。
- 乳酸菌添加を行うことで、水分含量27.5%以上で乳酸含量が増加、pHは4以下です。

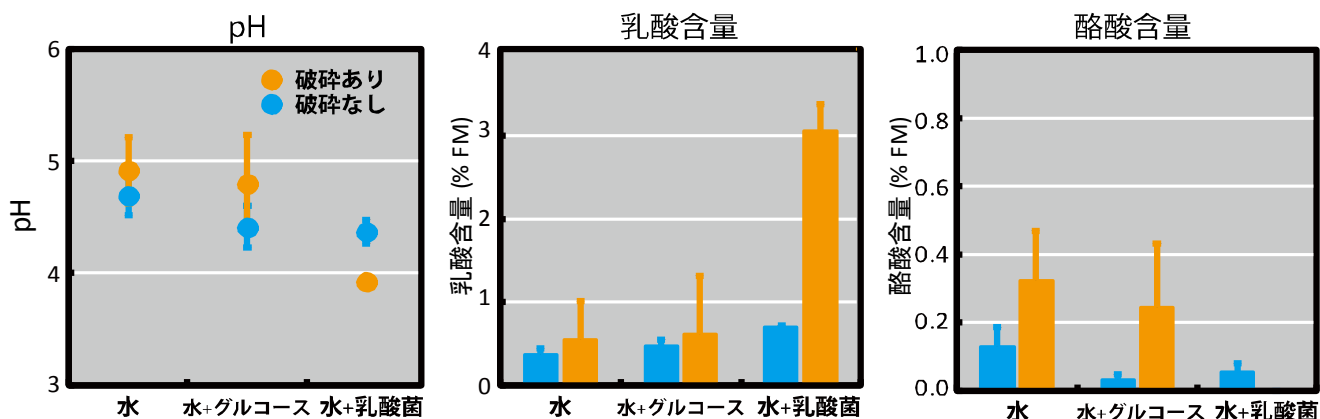


図1. 飼料用米サイレージ発酵品質におよぼす破碎処理の効果

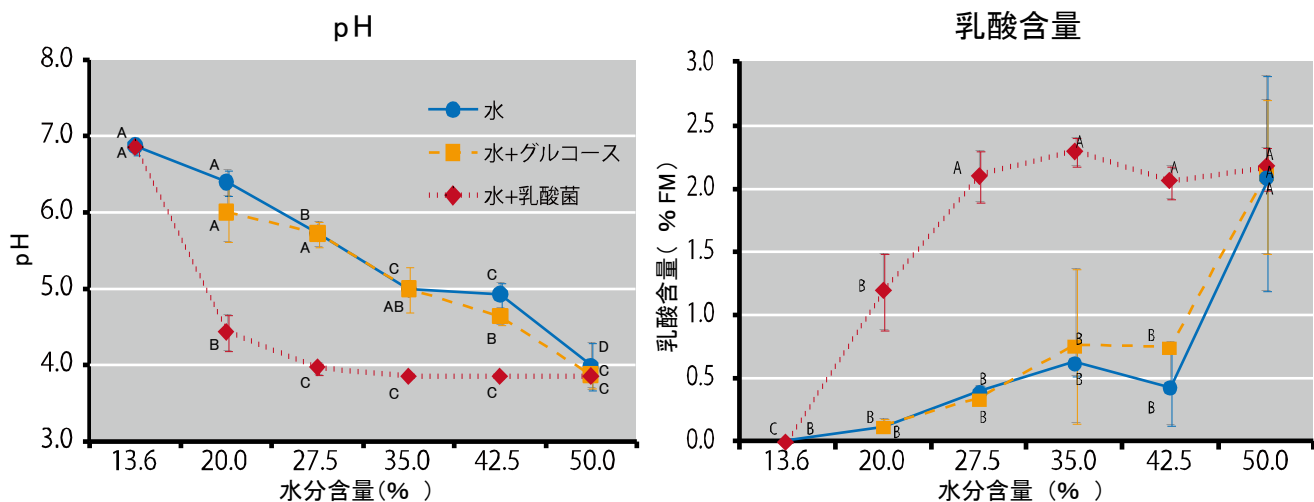


図2. 破碎粳米において、添加物および水分調整量を変えた飼料用米サイレージの発酵品質

従来の調製コストは1kg当たり約31円(乾燥約19円・貯蔵約10円・破碎約2円)ですが、本技術(資材約10円・人件費約3円・その他光熱水費等約8円)により調製コストを34%削減可能です。

対象作物、普及対象

- ・ 水稻、全国

対象農家

- ・ 農協・コントラクタ等のサイレージ生産者、普及機関

必要な道具

- ・ 飼料用米破碎機、調製容器としてフレコンバッグ、ポリエチレン製の内袋、ドラム缶等
- 関連HP (成果情報)

その他

- ・ 破碎処理において、飼料米破碎機、プレスパンダおよび玄米として利用可能な飼料用米脱ひ・破碎機が市販機として利用可能です。詳しくは当研究所にご相談ください。